

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

配られし朝刊をとり有明の月あかりにて太文字を読む
杖つきて歩む道辺にふくいくと香りて満開の菊に癒さる

中山タマエ
浜田美代子

吹き渡る風にきしみて家裏の竹群われを呼ぶごと鳴りぬ

松元睦子

電線と屋根とをつなぐ蜘蛛の巣は今日の青空いっばいに映ゆ

岩下ち江

幼き日のときめき心いざなはれもみじなす桜の落ち葉拾へり

米尾和子

十二月八日開戦の悲しみ知るは吾ひとり眠れぬままに思ひ出しをり

坂之下典子

一般作品

丸五年月日は流るスリランカ新年の空果てしなく青し

小林 貢

万両の色着き見えて年の暮れ庭の片隅たたずみながむ

小林如月

二階より遠くの花火見る空にわれの空よと月が顔だす

中飯屋辰子

立ちている老嬢に空席を指せば大丈夫よとソプラノの笑み

後藤ヨシエ

人生は此れから何だ難かしい生きる事とは動なるのかな

町田末則

ようやくに果汁たつぶり実を結ぶ苗より十年今年のデデは

母木良平

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

天草に沈む日輪冬に入る

淵脇 護 竹籠に並ぶ白菜陽の匂ひ

関佳代美

病む猫にひと夜付き添ひ冬始め

大堂 早苗 裏庭にしばし陽当たる花八手

大堂正弘

初冬や昼餉のうどん吹きすすす

山寄加代子 霜月や日々無事願ふ島暮し

関喜久雄

今年米子にはらからに書く宛名

二階堂妙子 茶を啜る音の高きや冬はじめ

白男川孝仁

地球儀のおほかたは海炬燵守

追口 君代 十一月島の段畑暮早し

坂口 静子

吹かれ来て冬の始めの鉋屑

二階堂恵子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介



「発達障害」と間違われる子どもたち

著：成田 奈緒子

子どもたちの間で増える「発達障害もどき」について解説し、そこから抜け出す方法を具体的に伝えます。

どうぶつでんしゃ



西村 敏雄：作

ガタン、ゴトン。いろいろなどうぶつ電車がやってきます。乗っているのはだれかな？

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121